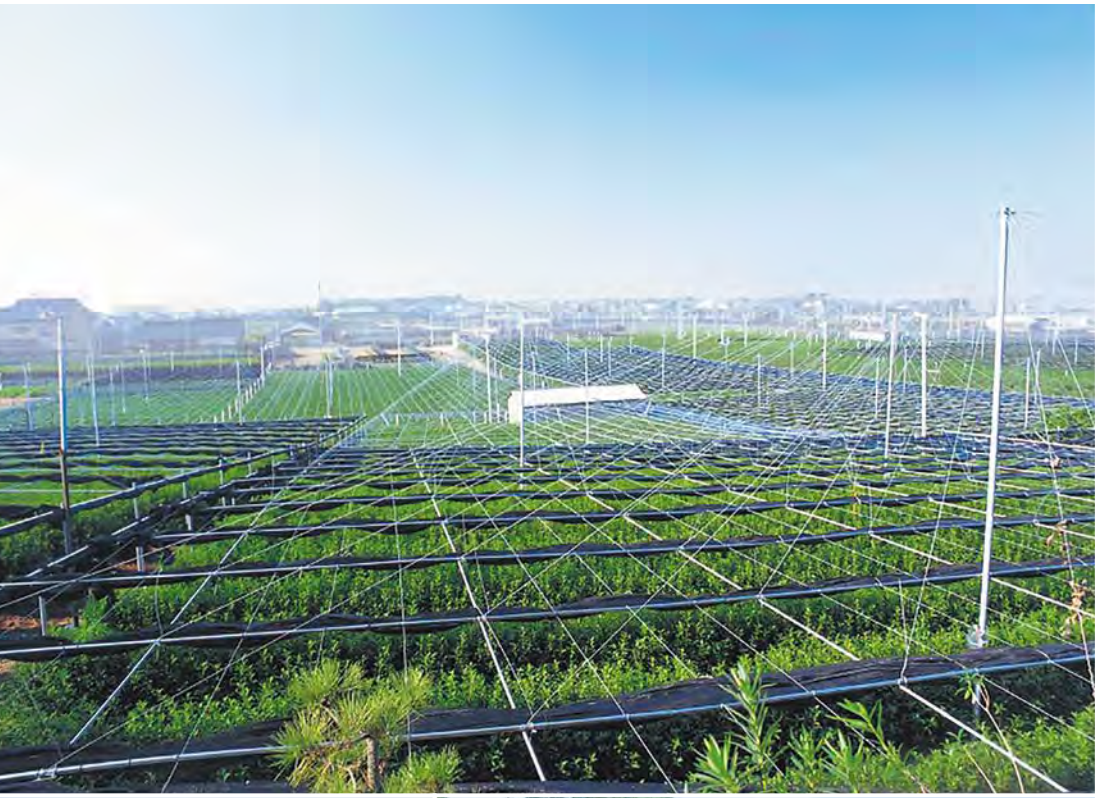
Hekikai Report

地域金融機関として
伝えるビジネスの
“今”と“これから”

〈企画・編集〉
碧海信用金庫
経営企画部 企画グループ
https://www.hekishin.jp/



企業訪問　地域の躍動企業
高浜工業株式会社
代表取締役社長　鈴木 雅基 氏

特集　西尾市岩瀬文庫で知る・見る・ふれる
“江戸のメディア王”蔦屋重三郎の世界

お役立ちコラム　知っておきたい税情報
中古資産の耐用年数

SDGsレポート vol.21　(2025年1月～3月)

地域の景気動向　2025年3月調査

Topics1　しんきんの共済制度　日本フルハップ
Topics2　豊田西支店・豊田朝日支店　新築移転オープン!

碧海信用金庫

企業訪問

地域の躍動企業

SPECIAL INTERVIEW

高浜支店お取引先

高浜工業株式会社　代表取締役社長　鈴木　雅基 氏

窯業機械設備や産業用機械設備、精密鍛工品の製造、販売を行っている高浜工業株式会社。同社の機械設備は、38カ国で活躍しています。「鍛冶屋」を源流としながらも、現在セラミックを原料とする窯業分野において確固たる地位を築くまでの道のりや、今後の展望を鈴木社長に伺いました。

セラミック業界で得た飛躍的成長を目指す

知見を活かし高浜工業株式会社

迅速なアフターフォロー体制を構築しお客さまの信頼を獲得、事業拡大へ

―創業からの歩みについて教えてください。

当社は1947年（昭和22年）2月22日、「鍛冶関鉄工所」として、窯業機械の製造販売を事業として創業しました。創業当時は、小屋くらいの小さな場所で私の父と父の兄がスタートさせました。ですが実はそれ以前に、私の曽祖父が鍛冶屋を営んでおり、現在の鍛造事業につながっています。当時は船の部品を製造していましたが、徐々に愛知県の地場産業である自動車部品製造や窯業といった分野に広がりました。

瓦の三大産地は、三州（愛知県）、石州（島根県）、淡路（兵庫県）です。そこで、瓦製造産業が発達している島根県と淡路島に営業所を置くことで、迅速なアフターフォローが可能になりました。また、陶器の産地である岐阜県の東濃にも営業所を設置し、陶器製造機械のアフターフォローにも備えています。機械が止まると生産が止まってしまうので、すぐに部品交換などの対応ができるようにするためです。そうしてお客さまの信頼を積み重ね、窯業分野での存在感が大きくなっていきました。

―事業内容のうち、窯業機械について教えてください。

当社の窯業機械は、瓦やレンガ、タイル、食器、衛生陶器という一般の方もなじみ深いものから、電線に取り付ける碍子など目にする機会が少ないものまで、さまざまな製品を生み出しています。洋食器は機械製造されていることが多く、かなりの数の洋食器が当社の機械で作られていると思います。

これらの製造には、セラミック原料を一定のサイズに「粉砕」、それを練り混ぜる「混練」、お客さまが求める形状にする「成形」、焼成する前の「乾燥」、高温で焼き締めて硬度を高める「焼成」、求める製品品質に達しているかどうかを確認する「検査」と、多くの工程が必要です。製品の種類によって原料が異なり、原料が異なると粉砕や混錬などの工程でさまざまな工夫が必要となることから、試行錯誤を繰り返してお客さまが求める製品が作り出せる機械を納入してきました。

◀陶磁器は太古より存在し、瓦は1400年以上の歴史がある。他素材の出現により製造業者が多少減ることはあっても、なくなることはないだろう

―産業機械設備は、どのような製品を製造しているのでしょうか。

窯業機械製造で蓄積された長年の経験を応用したのが、産業機械設備の製造です。自動組み立てや搬送など、一般的に製造工場で必要となる機能を備えた機械設備の、設計から製造、設置、試運転、操作レクチャーまで担っています。窯業では、白地と呼ばれる焼成前の陶器を運搬する必要があります。これは非常に繊細で割れやすく慎重な扱いが求められますが、精密製品を製造する機械に活かされています。

また、産業機械設備は、実に幅広い分野で活躍しています。例を挙げると、地元の主力である自動車関連設備。そして、化粧品や魚餌、線香、紙粘土、食品、リチウムイオン電池、樹脂製品などの設備です。一見、関連がないように見えますが、実はこれらは「原料を真空で押し出して成形する」という、製造工程の大枠は、窯業と同じなんです。ニッチな分野だと専門で機械製造しているメーカーは少なく「こんなものを作りたいんだけど…」と、新商品開発段階でお話をいただくことも珍しくありません。

SPECIAL INTERVIEW

高浜工業株式会社

代表取締役社長　鈴木 雅基 氏

原料と製品の形状、お客さまが求める製造スピードを鑑みて、どんな機械設備だったら要望が実現するのか、設計段階からお客さまと二人三脚でゴールを目指します。

鍛造技術を駆使した、精密部品の製造販売も当社の事業の柱の一つです。自動車向け製品が多いですが、建築部材や自転車、バイク、産業用ロボットなどの鍛造部品も扱っています。他の素材に置き換えることができる場合もありますが、特に長期間にわたって強度が求められる部品は、やはり鍛造が必要になります。特に人の命にかかわるような部材も多く、今後、製品形状が変わっても不要になることはないと考えています。

▲磁器・陶器用粘土だけでなく、有機物・無機物を問わず、さまざまな原料の押出成形が可能な真空押出機

▲鍛造部門では、自動車の足回りに使われる部材など、高い強度と靭性を必要とする部位を製造

目指すは売上100億円以上、そして次に100年企業 蓄積された技術力を武器に、積極的に新規事業に取り組む

ー印象深い出来事をお聞かせください。

2019年に設立60周年の記念式典を執り行いました。その際、お取引先の方など約170名に出席していただき、一人ひとりにご挨拶をさせていただきました。お客さまに支えられて、当社がここまで成長できたんだと実感することができました。

当社が一番期待されていることは、交換部品の供給や機械修理を安定して提供すること。機械の寿命は約30年と言われており、修理や改造を繰り返しながら長く使うことが前提です。そしてそのためには、当社の経営の安定が必要不可欠です。そこで、創業100年に向けて、売上100億円を目指すことを宣言しました。そのうち、ふと「創業100年には私や今の管理職たちは引退しているな」と気づき(笑)、前倒すことに。今は、売上100億円と創業100周年、それぞれを目指して取り組んでいます。

▲設立60周年記念祝賀会の様子

ーSDGsについてのお考えを教えてください。

現在、社会全体でSDGsなど環境保全に寄与する取り組みが推進されています。当社では、“焼かない路盤材”や“焼かないレンガ”の開発に成功しました。発電時など、石炭を燃焼させたときに発生するフライアッシュ（微粉末の灰）など、産業廃棄物を混ぜて固めたもので、焼成工程がないため焼成炉の必要もなく、焼成につきもののCO2の発生も抑制できます。トンネルを掘った土を原料にして、新設する道路の路盤材に利用するといったことも可能なため、廃棄物の処理にも有効です。

ただし、「環境に良いものを」と試作品を作ってばかりいると、そのこと自体が非環境的になってしまいます。特に環境に関わる法律や規制は更新されることが多く、そのたびに試作品を作らなければなりません。ですから、特別な製品を作るのではなく、設計時には省電力化を常に意識したり、不要になった試作品の原料をリサイクルして資源を有効活用したりと、自然にSDGsの考え方を持てるようになることが重要だと考えています。

◀一般のレンガと変わらない風合いの無焼成レンガ

ー事業を継続していく上で重視していることはどんなことですか。

社員にいつも言っているのは、「困難は必ずある。その解決方法は簡単に見つかるものではないけど、苦労を乗り越えた先に必ずいい答えが見つかる」ということです。例えば新しい原料を採用する時は、均一に粉砕できない、成形時に一部が欠けてしまうなど、何か問題が起こります。それは「こうしたらうまくいくんじゃないだろうか？」と一つひとつ検証し、解決していかねばならず、時間や手間がかかります。時には製造中機械の内部がどうなっているか確認するために、機械を分解して実際に確認することもあります。でもそうやって地道に経験を積み重ねてきたことで、新たな業界の原料をうまく製品化した時に依頼に応えられたと実感できます。私は経営者として、社員が困難を乗り越えられるよう叱咤激励したり、責任を背負ったりと、みんなが向かうべき方向に向かうためにサポートをすることに注力しています。

今後は、海外拠点の新設や本社工場の拡大など、攻めの姿勢で新しい事業も積極的に取り組んでいきたいと考えています。他業種で経験した技術は様々な業界で必要とされる製品づくりに必ず役立つはず。そう信じて、まい進していきます。

▲多くの工程を要する機械製造だからこそ、工場の規模も大きくなる。今後は海外への進出も考えているという

■法人プロフィール　高浜工業株式会社

窯業機械、産業機械、次世代押出機といった製造機械の、設計からアフターサービスまでを自社にて提供。「KAJISEKI」ブランドとして、世界から評価されている。また、電動自動車の発電系部品や車軸周りの駆動系重要部品など、鍛造製品が自動車産業を支えている。

本拠地	〒444-1302 愛知県高浜市八幡町二丁目2番地1
TEL	0566-52-5181
FAX	0566-52-5960
代表者	鈴木 雅基
創業	昭和22年2月
設立	昭和34年10月
資本金	6億5,600万円
事業内容	窯業機械設備の製造・販売、産業用機械設備の製造・販売、精密鍛工品の製造・販売
URL	https://takahama-ind.co.jp/

■法人沿革

明治35年	碧海郡新川町（現碧南市）において鍛造事業部の祖業を開始
昭和22年	鍛冶関鉄工所として創業。窯業機械の製造販売を開始
昭和34年	高浜町（現高浜市）に工場誘致条例適用第１号企業として、高浜工業株式会社を設立 (株)鍛冶関鉄工所から分離独立、精密型鍛造事業を開始
昭和39年	(株)鍛冶関鉄工所の窯業機械の生産部門を吸収し、生販分離体制で営業 高浜工業(株)…生産部門　(株)鍛冶関鉄工所…販売部門
昭和42年	岐阜県土岐市に東濃営業所を開設
昭和51年	兵庫県洲本市に淡路営業所を開設
昭和52年	島根県江津市に島根営業所を開設
昭和54年	(株)鍛冶関鉄工所を(株)カジセキに社名変更
昭和57年	(株)カジセキと合併、生販一体化体制を確立 ブランド名“カジセキ”で全国に普及
昭和59年	鍛造事業部にコールドフォーマーを導入し冷間鍛造分野の業務を強化拡充
昭和60年	つくば科学万博にATM型全自動食器製造プラントを協賛出展 科学技術庁長官賞を受賞
平成13年	無焼成レンガプラントの開発に成功
平成20年	リサイクル瓦の製造技術が評価され「2008愛知環境賞銅賞」受賞
平成29年	社員食堂を建替え、創業70周年記念祝賀会を開催
平成31年	設立60周年祝賀会開催
令和３年	高浜市と災害救助物資等の搬送等及び避難場所の利用に関する協定を締結

左から高浜支店 森課長、鈴木社長、高浜支店 都築支店長（取材当時）

西尾市岩瀬文庫で知る・見る・ふれる

“江戸のメディア王” 蔦屋重三郎（つたや じゅうざぶろう）の世界

2025年のNHK大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」の主人公として注目を集めている、蔦重こと蔦屋重三郎。貸本屋から身を起こし、時代の潮流を見事につかんで、まさに江戸を代表する出版人となりました。

そんな蔦重が手掛け、当時の人びとの心を鷲掴みにした出版物が、西尾市岩瀬文庫には多数所蔵されています。しかもなんと、実際にさわって読むことができるのです。

※ご紹介する古典籍（江戸時代以前の書物）はすべて西尾市岩瀬文庫の所蔵です。

現在の岩瀬文庫外観

「箱入娘面屋人魚（はこいりむすめめんやにんぎょう）」（山東京伝／1791）の序文に描かれた「板元 蔦唐丸（つたのからまる）」（初代蔦屋重三郎）

“江戸のメディア王”蔦屋重三郎とは

泰平の世が続き、さまざまな産業や文化が花開いた、江戸時代中期。100万都市江戸の郊外の吉原で、蔦屋重三郎（1750～97）は生まれました。幼くして親元を離れ、引手茶屋（客を遊女と引き合わせる仲介業者）の養子として育ちます。20代で、吉原大門口五十間道に貸本と小売の書店「耕書堂（こうしょどう）」を構え、やがて編集・出版も手掛けるようになりました。

当時の江戸の自由な気風のなか、蔦重は戯作の名手として知られる朋誠堂喜三二（ほうせいどうきさんじ）や当時大ブームだった狂歌の第一人者大田南畝（おおたなんぽ）など文人たちとも親しく交わり、「黄表紙」（絵入りの娯楽小説）などでヒットを連発。33歳で大手の本問屋が軒を連ねる日本橋通油町に進出しました。蔦重は喜多川歌麿や葛飾北斎、曲亭馬琴（きょくていばきん）、山東京伝（さんとうきょうでん）といった若き才能を見出すと、人脈と商才を駆使してプロデュース。“江戸のメディア王”に成り上がっていったのです。

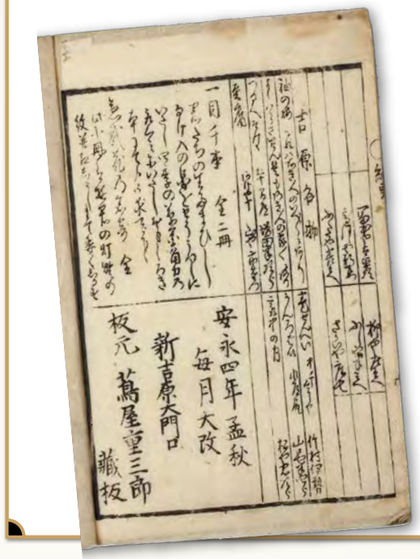
葛飾北斎が描いた日本橋通油町の蔦屋「耕書堂」店先（『東遊（あずまあそび）』1799）

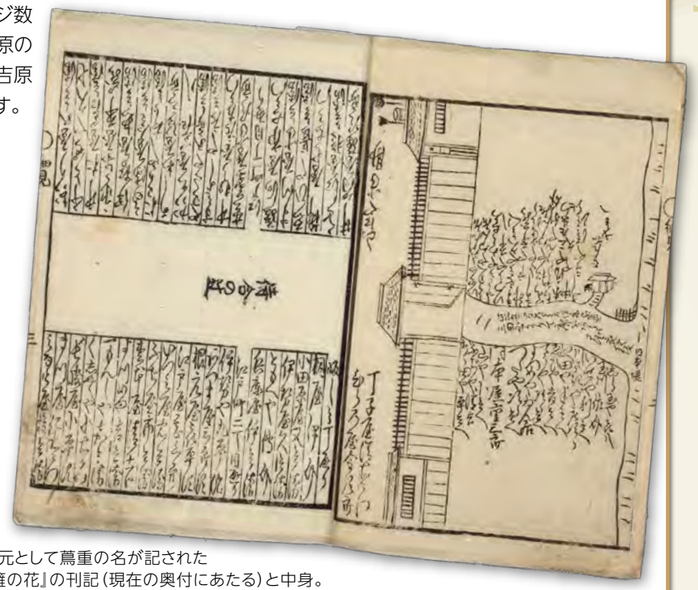
曲亭馬琴『胴人形肢体機関（どうにんぎょうからだのからくり）』（1800）
蔦重の死後、2代目蔦屋重三郎が板元となり出版した馬琴の小説。蔦重が見出した若い才能には、彼の死後に本格的に活躍した人物も多い。

蔦重の人生を動かした一冊① 吉原細見（さいけん）『籬（まがき）の花』

吉原細見は、妓楼と遊女たちの情報を中心とした吉原のガイドブックです。正月と7月の年2回大改訂され発刊されました。蔦重は25歳のとき、江戸市中の本屋鱗形屋（うろこがたや）孫兵衛が出版した安永3年（1774）正月版で編集に携わっています。

翌年の7月版を鱗形屋が出せなくなると、蔦重がすかさず出版。これが『籬の花』で、初の蔦重版吉原細見です。情報量はそのままに、従来のサイズより一回り大きくしてページ数を半減させ、コスト削減により安く販売。地元吉原の本屋による情報の正確さも評判となり、やがて吉原細見の出版は蔦重が独占していくことになります。





板元として蔦重の名が記された『籬の花』の刊記（現在の奥付にあたる）と中身。通りの両側に店名が記され、門前には蔦重の店も。

なぜ江戸の書物がたくさん？ 岩瀬文庫のなりたちと岩瀬弥助（いわせやすけ）の思い

岩瀬文庫の創業者岩瀬弥助（1867～1930）は、幕末の西尾で商家に生まれ、一代で巨万の富を築いた実業家です。西尾町長を務めたほか、西尾鉄道を開通させるなど、西尾のまちづくりに力を注ぎました。

そんな弥助が私立図書館建設を目指したのは明治36年（1903）頃といい、一説には、42歳の厄落としに社会への利益還元を考えたのがきっかけとか。ちょうど明治32年（1899）に図書館令が公布され、図書館への関心が高まりつつあった頃で、弥助も地域文化の向上に思いを募らせたのではないでしょうか。

こうして明治41年（1908）に誕生した岩瀬文庫。講堂や音楽堂、女性のための閲覧室に児童館までありました。あらゆるジャンルの本が集められ、その数、実に8万冊余り。多くは江戸時代以前の古典籍で、文明開化を経て見捨てられつつあったそうです。これらの書物を救うという弥助の思いに加え、安価に入手できたため、今や貴重な古典籍が膨大に残されたのでした。実際、岩瀬文庫の蔵書には国の重要文化財も含まれています。

岩瀬弥助

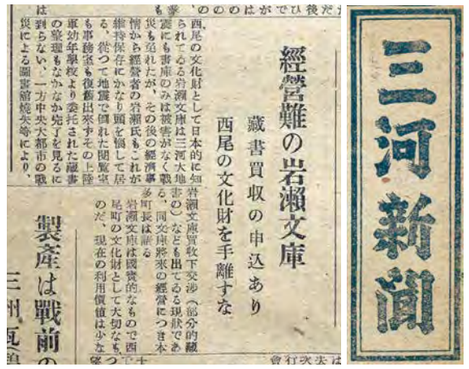
明治時代の岩瀬文庫

市民が守った岩瀬文庫

弥助の遺言により財団法人化された岩瀬文庫でしたが、戦後の農地改革や税制改正による財政難で、運営が困難になりました。昭和20年（1945）の三河地震で損壊した閲覧室や事務室も修復できず、さらには戦災で図書館を失った都市部から蔵書の売却を求める声も上がります。

これに危機感を募らせた西尾の人びとは、蔵書を散逸させず赤レンガの書庫を残してほしいと、署名運動を展開します。市制後、人びとの努力は実り、一時は決まりかけた県への売却も中止され、土地建物は財団が寄付し、蔵書は市が一括購入することで決着。昭和30年（1955）、岩瀬文庫は西尾市立図書館の一部となりました。

平成15年（2003）には日本初の古書ミュージアムとして生まれ変わった西尾市岩瀬文庫。創立の地にて、3年後には120周年を迎えます。


三河新聞

經營難の岩瀬文庫

藏書買收の申込あり

西尾の文化財を手離すな

岩瀬文庫の危機を伝える「三河新聞」記事（1945年10月5日付）
げんぞうアーカイブス所蔵

蔦重も牽引！ 江戸で花開いた庶民の楽しみ「草双紙（くさぞうし）」

書籍といえば、かつては専ら手書きで、所蔵者も寺社などに限られていましたが、江戸時代には印刷出版が一般化。数多くの本が生み出され、書籍は一部の限られた人のものではなくなりました。

上方から離れている江戸では、庶民のための安価なお楽しみ本も生まれました。絵がメインで、まわりに話し言葉でストーリーが書かれた「草双紙」。まずは昔話などを題材とした幼児向けの本ができ、やや内容が複雑化して青少年向きになり、表紙の色からそれぞれ「赤本」「青本」と呼ばれました。

青本『風流鱗退治（ふうりゅうううろくずたいじ）』（1745・複製）

赤本『むかしむかしの桃太郎』
『文福茶釜』『さるかに合戦』
（いずれも江戸中期頃・複製）

黄表紙『三升増鱗祖（みますますうろこのはじめ）』
（恋川春町／1777）
板元の鱗形屋は最初に黄表紙を出した本屋。

蔦重の人生を動かした一冊②『青楼美人合姿鏡（せいろうびじんあわせすがたかがみ）』

当時大人気の絵師ふたりが夢の共演を果たし、普段は見られない遊女のオフショットを描いた、豪華仕様3冊組の贅沢な画集です。吉原はもちろん、まだ駆け出しの本屋だった蔦重にとってもよい宣伝になったのではないでしょうか。PRを望む妓楼や遊女から出資を受けて制作したと考えられ、蔦重のニーズの掘り起こしと資金調達の腕前もうかがえます。なお、絵師のひとり北尾重政は、蔦重最初の出版物以来、彼の仕事を支え続けた人物です。

北尾重政・勝川春章筆『青楼美人合姿鏡』（1776）
「松葉屋」のページにはドラマヒロインが継いだ名跡「瀬川」の姿も。

江戸っ子が楽しんだ本に実際にさわれる！岩瀬文庫での資料の閲覧

創立以来、研究者から地元の学生まであらゆる人に無償で公開されてきた岩瀬文庫。今ではむしろ普通に感じますが、戦後の図書館法制定まで、公共図書館でも多くは有料だったといいます。たくさんの人に本に触れてほしいという岩瀬弥助の思いは令和のいまも引き継がれていて、18歳以上の人なら閲覧可能。事前予約なしでもOKで、白手袋も不要です。

閲覧したい本を用意してもらいつつ、腕時計や指輪などのアクセサリーをはずし、しっかり手洗い（閲覧室には、ちゃんと洗面台もあります）。貴重な書物を傷つけないよう十分注意して、数百年のタイムトリップを楽しみましょう。

※保存状態の悪い資料、展示中の資料などは、閲覧できない場合があります。閲覧の可否は事前に問い合わせることも可能です。
また、蔦重関連の本は学芸員のおすすめから選ぶこともできます。

何度訪れても楽しめる！岩瀬文庫×蔦重の世界

今年1年を通じ、岩瀬文庫ではミニ展示「岩瀬文庫と蔦屋重三郎」を開催しています。蔦重自身が出版した書物はもちろん、彼やその周辺の人物に関する書物を数点ずつ展示。2週間に1回くらいの頻度で展示物が変わり、ドラマの内容に関する書物をタイムリーに紹介してくれます。

さらに！特別展「江戸の出版文化と蔦屋重三郎」5/24～ 開催！

蔦重と江戸の出版物の世界がより一層楽しめる特別展が、5月24日（土）から始まります。奇しくもこれが岩瀬文庫100回目の企画展だとか。さまざまな本を通して江戸の出版事情を学びながら蔦重の活躍ぶりも知ることができる展示です。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

Information
インフォメーション

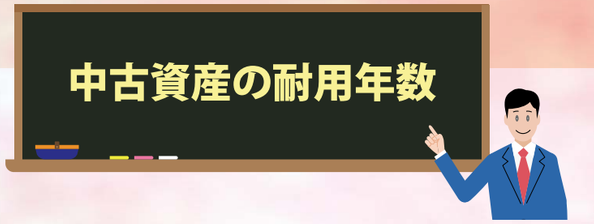
西尾市岩瀬文庫

場　　所：愛知県西尾市亀沢町480
電　　話：0563-56-2459
開館時間：午前9時～午後5時（閲覧室は午後4時まで・申請は3時半まで）
休 館 日：月曜日（祝日は開館）・年末年始・館内整理日・特別整理期間
入 館 料：無料
駐 車 場：80台（市立図書館と共用）

※取材協力：西尾市岩瀬文庫 古典籍・明治時代のものも含めた同館外観・岩瀬弥助肖像の画像も提供いただきました。
※おもな参考文献：『ものがたりの系譜』西尾市岩瀬文庫 2021年、『西尾市史 現代 五』西尾市 1980年、鈴木俊幸『本の江戸文化講義 蔦屋重三郎と本屋の時代』KADOKAWA 2025年

お役立ちコラム

知っておきたい税情報



中古資産の耐用年数

建物、機械、備品などの減価償却資産は、通常、その取得価額（取得に要した費用）を耐用年数（使用可能期間）にわたって各事業年度の償却費として費用化していきます。そして、その耐用年数については、ほとんどの場合、税法に定める「法定耐用年数」が用いられています。

それでは、中古の資産を取得した場合、当該資産の耐用年数はどのように取り扱えばよいでしょうか。

今回は、中古資産を取得した場合の耐用年数の算定方法や留意すべき事項について解説します。

山本康裕税理士事務所　税理士　山本康裕

中古の資産も減価償却資産であるため、原則として「法定耐用年数」に基づいて減価償却費の計算を行います。しかし、中古の資産は、すでに一定期間使用されていることから、残りの使用可能期間を適切に見積もることにより、その期間を耐用年数とすることができます。

ただし、そのような使用可能期間を適切に見積もることは容易でないため、次の簡便法により算定した年数を耐用年数とすることが認められています。

簡便法による中古資産の耐用年数の算定

区　　分	計　　算　　式
法定耐用年数の一部を経過	（ 法定耐用年数 － 経過年数 ）＋（ 経過年数 × 20% ）
法定耐用年数の全部を経過	法定耐用年数 × 20%

※これらの計算により算定した年数に1年未満の端数があるときは、その端数を切り捨て、
　年数が2年に満たない場合には、2年とします。

例えば、建築後10年を経過した中古の建物（鉄筋コンクリート造 店舗用 法定耐用年数31年）を取得した場合、当該建物の耐用年数は、上記の計算式を当てはめると、次のとおり、23年となります。

（31年−10年）＋（10年×20%）＝（372月−120月）＋（120月×20%）＝ 276月 ＝ 23年

法定耐用年数　経過年数　経過年数

簡便法は、中古資産の損耗の程度や使用可能期間等の見積もりを行うことなく、取得時における当該資産の経過年数を用いて便宜的に耐用年数を算出するものですが、計算が容易であることから、実務において広く用いられています。

ただし、取得した中古資産を事業に使用するに当たり改修や追加工事等を行う場合、その費用の額が当該資産の購入価額の50%相当額を超えるようなときは、簡便法の適用はできません。その場合は、使用可能期間を適切に見積もるか、あるいは法定耐用年数を用いることとされています。

また、中古資産について支出した費用の額が、その資産の再取得価額（新品で購入する場合の価額）の50%相当額を超えるようなときは、その資産はもはや中古資産としてではなく、新品と同様に取り扱う必要があるため、当該資産については「法定耐用年数」により減価償却費の計算をすることとされています。

なお、このような簡便法や見積による耐用年数の算定は、当該中古資産を事業の用に供した事業年度において行うことができるものであるため、事業の用に供した事業年度において、「法定耐用年数」を適用した場合は、その後の事業年度において、簡便法や見積による耐用年数の見直しをすることはできないため注意が必要です。

vol.21
へきしんSDGsレポート
2025年1月～3月

碧海信用金庫は、地域金融機関としてSDGsの取り組みを通じて持続可能な地域社会の実現に貢献します。

自治体と脱炭素社会の実現に向けた連携協定を締結

脱炭素社会の実現に資する取り組みを実施し、持続可能な地域社会の実現と持続的な地域の発展に貢献するため、刈谷市および東浦町と協定を締結しました。地域とともに脱炭素化に向けた取り組みに力を入れてまいります。

1月22日　刈谷市役所にて

3月31日　東浦町役場にて

あいちアール・ブリュット×アティックアート 連携事業に協力

愛知県障害者芸術活動参加促進事業に協力し、障がいのある方が描いた作品をデザインに採用した「ボックスティッシュ」「角2封筒」「現金封筒」を制作しました。2月10日から3月10日の期間は、ノベルティグッズや原画を展示する「まちなかギャラリー」をローンプラザ安城、御園支店にて開催しました。

「STATION Aiツアー&スタートアップピッチ」を開催

1月23日に国内最大級のスタートアップ支援施設「STATION Ai」を実際に見ていただき、入居スタートアップとの交流を体験していただけるイベントを開催しました。引き続き多くのお客さまにSTATION Aiの体験や、スタートアップとの出会いにつながるイベントの企画等を行ってまいります。

「能登半島復興応援定期積金」の取り扱い

1月6日から3月31日の期間に、能登半島地震にかかる復興支援の一助として、募集総額の一定率に相当する金額を信金中央金庫から被災地の地公体に寄付する定期積金の取り扱いをしました。今後も商品を通じた社会貢献に積極的に取り組んでまいります。

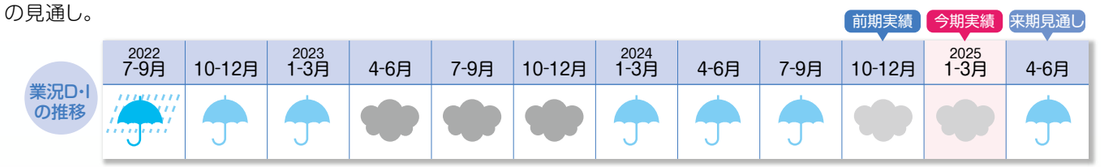
公益社団法人東海市シルバー人材センターとの共催による「相続・終活について考えるセミナー」を開催

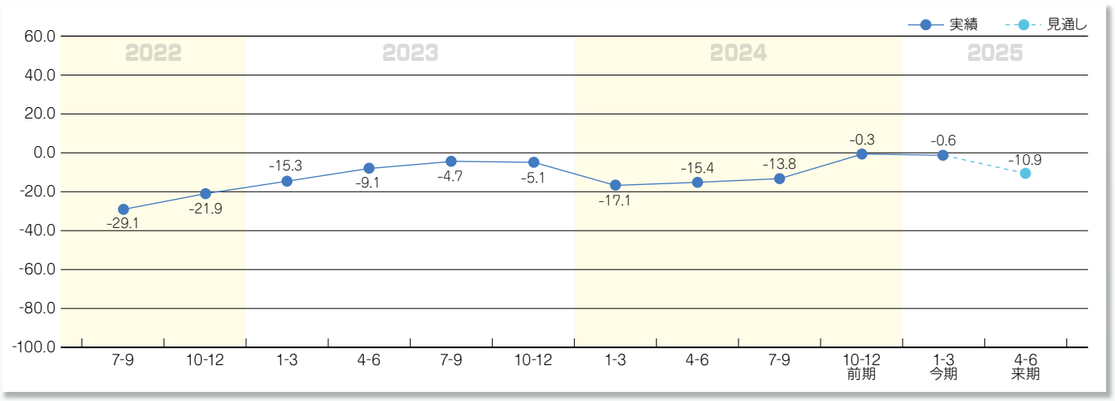
2月17日に終活に関心のあるお客さまに向けてセミナーを開催しました。ご家族やご友人と一緒に多くの方にご参加いただき、参加者にはエンディングノートをお渡ししました。

全業種　回答数318社

今期の業況D･Iは、前期比0.3ポイント低下の▲0.6と、ほぼ横ばい。製造業、建設･不動産業は改善の一方で、卸売業、小売業、サービス業は悪化した。来期の予想業況D･Iは、10.3ポイント低下の▲10.9。マイナス幅に差はあるが、すべての業種で悪化の見通し。

業況D･Iの推移





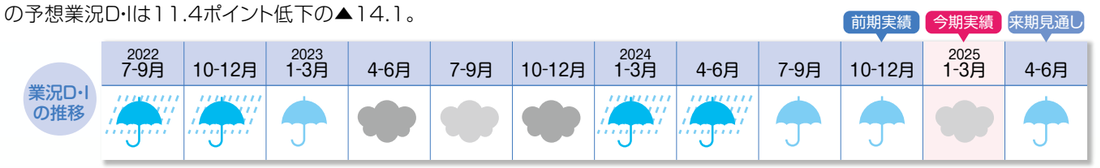
主要D・Iの推移

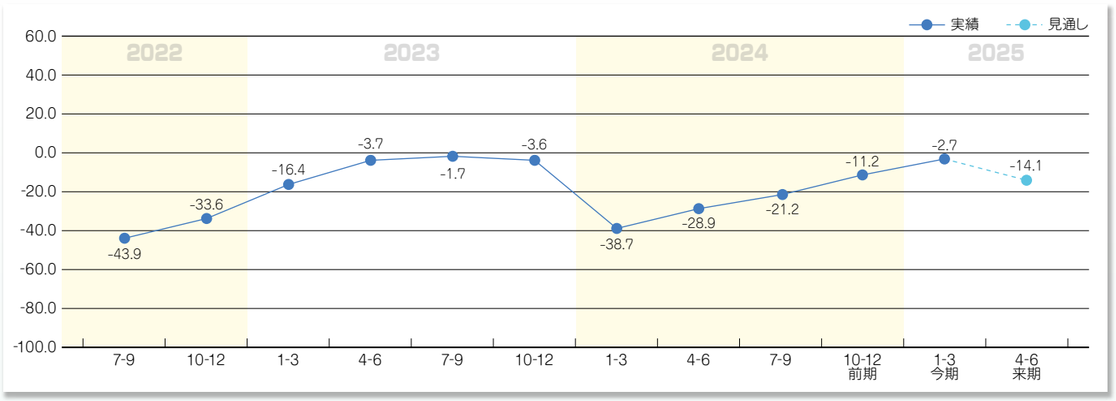
(注)在庫／設備／人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

製造業　回答数113社

今期の業況D･Iは、前期比8.5ポイント上昇の▲2.7と、4期連続で改善。売上は改善傾向が続く。一方で、多くの企業がコスト高の影響を受けており、価格交渉、経費削減、業務効率化等、利益確保に向けた取組みを実施または検討しているとの声が多い。来期の予想業況D･Iは11.4ポイント低下の▲14.1。

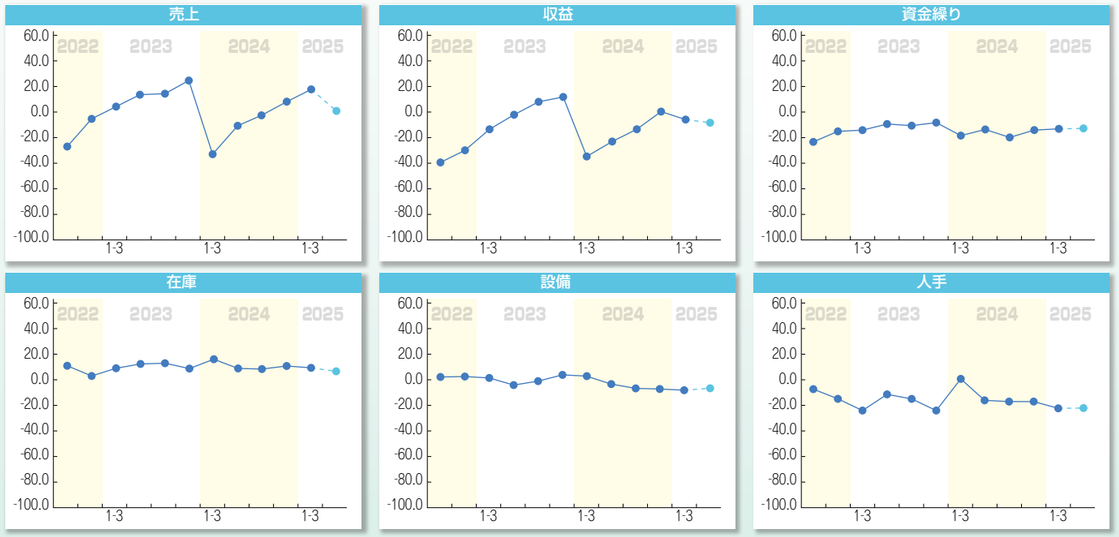
業況D･Iの推移





主要D・Iの推移

(注)在庫／設備／人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。



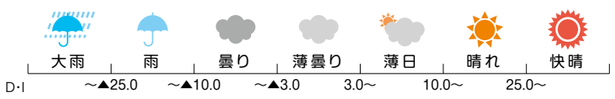
へきしん取引先景況調査とは

本調査は、地域および業種の景気実態および景気予測（景況）を把握するため、四半期ごとに当金庫の取引先企業様にアンケート調査を実施し、回答をいただいたものです。

調査概要

- 実施時期　2025年3月3日～7日
- 対象企業　318社
- 対象地域　西三河および尾張南部を中心とした当金庫の営業エリア

天気図の見方

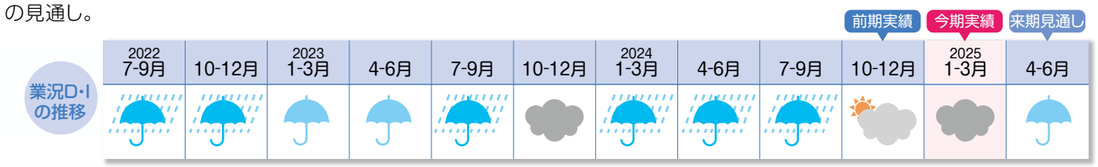


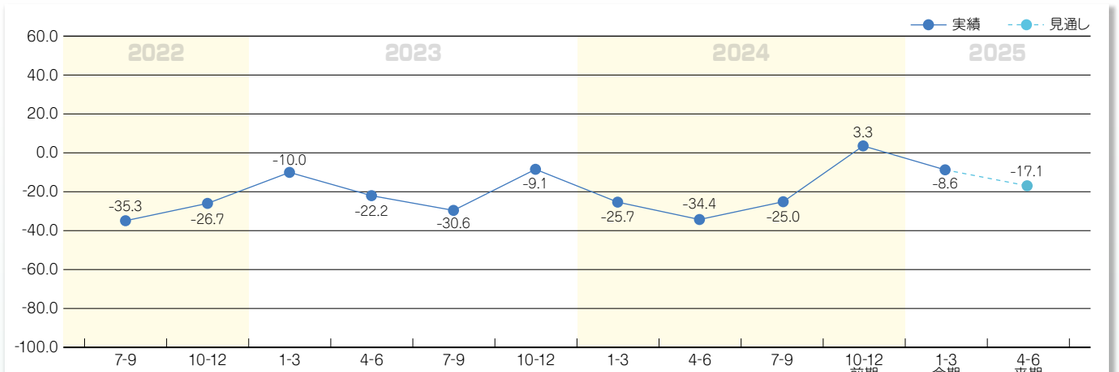
D･I(ディフュージョン･インデックス)とは…業況(業界の景気)等を判断するための指数であり、〈良いまたはやや良いと答えた割合〉－〈悪いまたはやや悪いと答えた割合〉で求められます。

- ●原材料費や人件費等コスト増加により収益圧迫。取引先に対しての価格転嫁には時間を要している。新たに機械を導入することで、販路拡大、収益回復を図る計画。（自動車部品製造）
- ●受注が不安定なこともあり、正社員での人材採用までは考えていない。（工作機械製造）
- ●工場を一箇所に集約し、固定費の削減を実施。（機械器具部品製造）
- ●市場金利上昇を見据え、先行して設備導入検討。（自動車部品製造）

卸売業　回答数35社

今期の業況D･Iは、前期比11.9ポイント低下の▲8.6と、悪化。再びマイナス水準に転じた。価格転嫁が進んでいるとの声はあるものの、コスト高に追い付かず苦戦している企業も見られる。来期の予想業況D･Iは8.5ポイント低下の▲17.1と、さらに悪化の見通し。





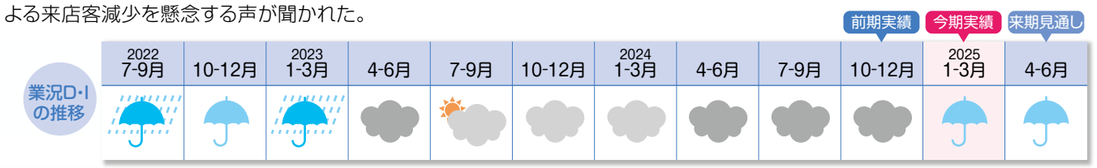
主要D・Iの推移

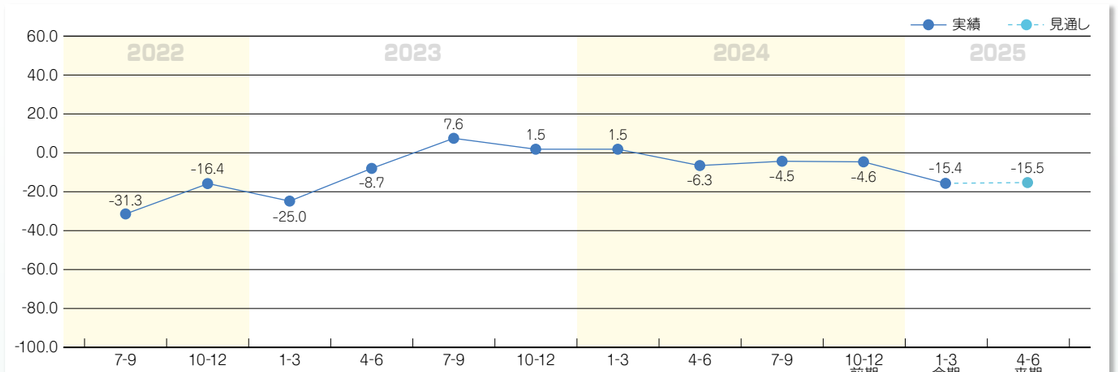
(注)在庫／設備／人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

●価格転嫁は以前より進んでいるが、仕入価格上昇が続いている。適正な価格で販売するため、採算の合わない取引先との取引をやめている。新規先の獲得が必要だが難しい。（繊維品卸売）
●人手不足により売上、収益の増加が難しい状況。土地売却、M&Aなど検討中。（建築材料卸売）
●人件費等ランニングコスト上昇の影響により、収益力は低下している。（鋼材卸売）

小売業　回答数65社

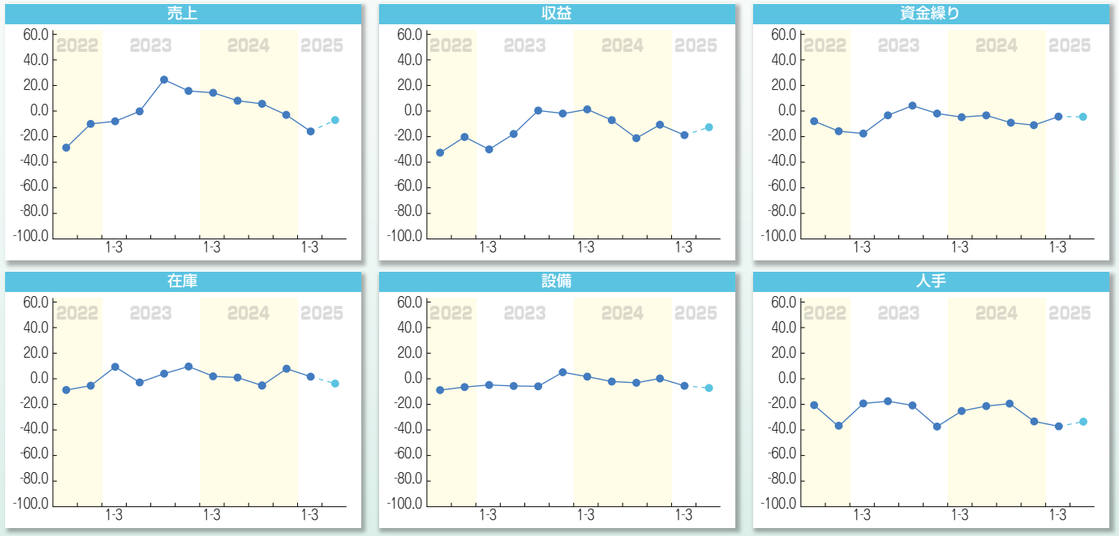
今期の業況D･Iは、前期比10.8ポイント低下の▲15.4と、悪化。物価高による買い控えやコスト高の影響により、売上、収益とも悪化した。来期の予想業況D･Iは0.1ポイント低下の▲15.5。新生活シーズンの売上増加が期待される一方で、さらなる値上げによる来店客減少を懸念する声が聞かれた。





主要D・Iの推移

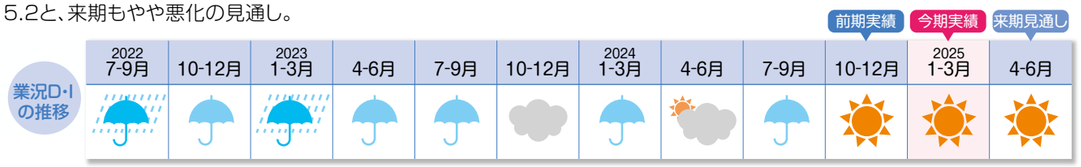
(注)在庫／設備／人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

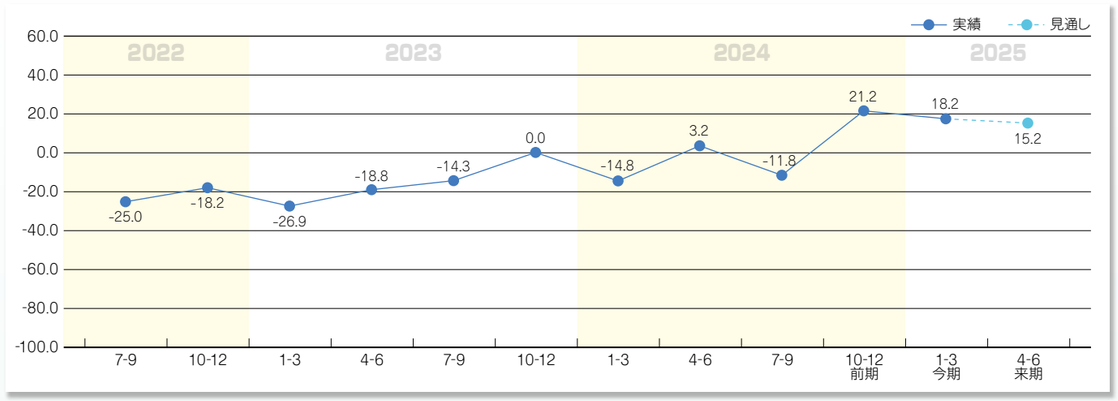


●お米と卵の高騰が大打撃となっている。4月以降に値上げを予定しており、利益率向上を図る。（飲食店）
●仕入価格が高騰しており、販売価格を引き上げたいが、競合も多くなかなか希望価格まで上げられていない。（米小売）
●雪はあまり降らなくても、ニュースや天気の情報などに影響され、来店客数が減っている。（時計、宝石販売）

サービス業　回答数33社

今期の業況D･Iは、前期比3.0ポイント低下の18.2。やや悪化したものの、高水準で推移。売上、収益は前期比ではマイナスとなったが、安定しているとの声も多い。人手はやや改善したが、依然として不足感が強い。来期の予想業況D･Iは3.0ポイント低下の15.2と、来期もやや悪化の見通し。





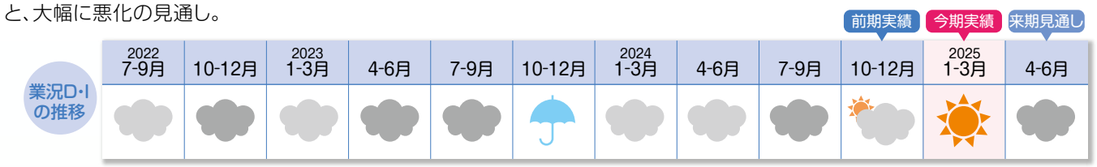
主要D・Iの推移

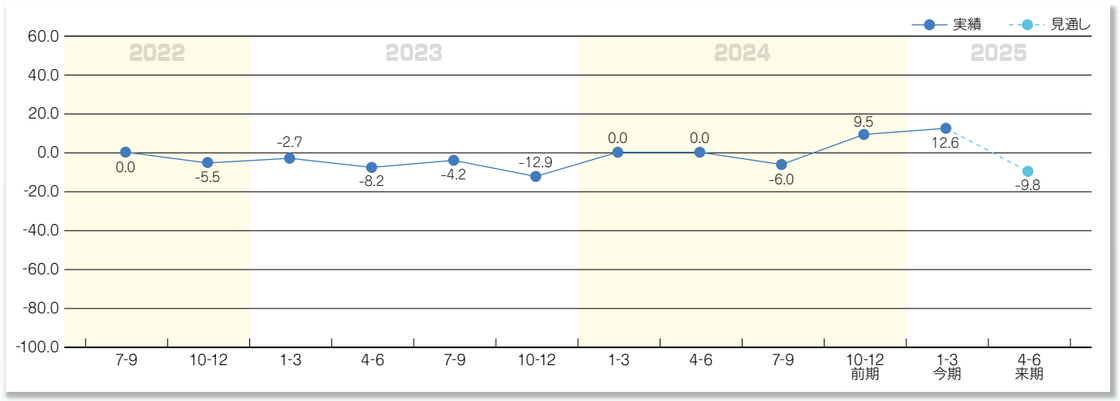
(注)設備／人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

●前期と比較して売上、収益に特に変化はなし。技術力強化、顧客増加により収益増加を目指す。（理美容業）
●法人との安定した取引があり、安定的。（自動車整備）
●慢性的に人材不足。自社の強みを効率よくアピールする広告、宣伝力が必要。（理美容業）

建設・不動産業　回答数71社

今期の業況D･Iは、前期比3.1ポイント上昇の12.6と、2期連続で改善。特に建設業は、受注が安定しているとの声が多く好調。一方、依然多くの企業が資材価格や人件費等のコスト高の影響を受けている。来期の予想業況D･Iは22.4ポイント低下の▲9.8と、大幅に悪化の見通し。





主要D・Iの推移

(注)在庫／設備／人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

●持ち株会社を設立し、4月よりグループ全体の経営や資金繰りを一元管理。また、採算性の悪い会社を吸収合併し、体制のスリム化を図る。（土木工事）
●売上高至上主義からの脱却を図り、1棟ごとの採算管理をより厳格に行うことで利益確保に努めている。（戸建て分譲）
●販路拡大を目指しており、デジタルマーケティングにも力を入れていきたい。（不動産賃貸、仲介）

Topics 1

街の社長さんを応援します!

しんきんの共済制度

日本フルハップ

当金庫では、中小企業の皆さまが抱える「災害防止」「福利厚生」「災害補償」に対する課題解決を応援するため、
公益財団法人日本中小企業福祉事業財団（略称／日本フルハップ）の取り扱いを開始しました。

＜3つの安心で経営者の皆さまを応援します＞

いい仕事はいい職場で作られる	がんばる人を笑顔にしたい	あなたを「安心」で支えたい
ケガの防止	福利厚生	ケガの補償

＜日本フルハップができること＞

災害防止助成	対象品等を購入された場合などに助成します
催物への招待など	抽選にて催物への招待券やグルメ商品を提供します
人間ドック助成	人間ドックを受診された場合に助成します
保養施設宿泊助成	日本フルハップが契約している保養施設に宿泊される場合に助成します
各種無料相談	日ごろ事業所や身のまわりで起こる様々な問題について、専門家がご相談に応じます
各種割引サービス	レジャー施設、グルメ、ショッピングなど、多彩なメニューを優待料金で提供します
研修・通信教育助成	人材育成を図るため、日本フルハップが指定する研修コースを受講し修了した場合に助成します
ケガの補償	おケガで通院・入院された場合などに補償します

＜ 詳しい商品内容は、こちらをご覧ください ＞

しんきんの共済制度　日本フルハップ　検索

https://www.nfh.or.jp/about/skmutualaid.html

詳しくは、お近くの〈へきしん〉へお問い合わせください

Topics 2

2025年5月7日（水）
豊田西支店・豊田朝日支店 新築移転オープン!

地域のお客さまの利便性向上のため、豊田西支店と豊田朝日支店を新築移転し、同一店舗内にて営業いたします。

店内から眺望できる庭園を設け、安らぎとゆとり、落ち着きのある空間を演出し、お客さまが来店したくなる店舗設計としました。

また、お客さまのプライバシーに配慮した個室型対話ブースを当金庫で初めて設置し、質の高いサービスを提供いたします。

今後も地域の皆さまのお役に立てるよう、職員一同努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

（完成イメージ）

住　所　豊田市小坂町六丁目1番1　　電　話　0565-33-3133

2025年4月22日（火）
店舗外ATMコーナー「バロー東新町店出張所」を新設しました!

住　所　豊田市東新町六丁目17-1　　場　所　バロー東新町店1階ATMコーナー

ATM営業時間　全日 8:00～21:00

2025年2月25日（火）
「へきしんローンプラザ豊田」を新設しました!

お取扱業務　住宅ローン／各種個人ローン

お問い合わせ　0120-662-030

住　所　豊田市寿町三丁目5番地1（旧豊田寿町支店）

営 業 日　月・火・木・金・土・日　9:00～11:30／12:30～17:00

休 業 日　水曜・祝日（土日を除く）・振替休日・年末年始等

※予約優先ですので、予めフリーダイヤルまたはホームページからのご予約をおすすめいたします。

ホームページはこちらから

地域の“今”と“これから”

西尾の抹茶

（写真提供：一般社団法人西尾市観光協会）

〈表紙の写真〉

西尾市岩瀬文庫から車で5分程の小高い丘陵地に「稲荷山茶園公園」があります。公園からは茶園風景を一望でき、5月からの茶摘シーズンには摘み子さんたちの作業風景を眺めることができます。西尾市はてん茶（抹茶の原材料）の全国有数の産地で、「西尾の抹茶」（西尾市・安城市で生産・てん茶加工・仕上げ・茶臼挽きした抹茶）は、特許庁により地域ブランドとして認定されています。

近くには、お茶ゆかりのお寺である「実相寺」や「紅樹院」があります。また、市内には全国でも珍しい抹茶色の丸型ポストを見ることができます。抹茶や抹茶を使ったスイーツを楽しめるお店等もたくさんありますので、のんびり巡りながら抹茶三昧してみてはいかがでしょうか。

碧海信用金庫
愛知県安城市御幸本町15番1号
（vol.66　2025年4月発行）